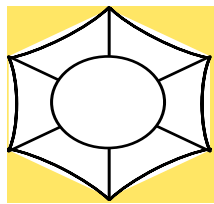


# 学校教育目標 「楽しい学校 かがやく生命」



# だいよん

堺市立第四小学校  
学校だより NO5  
2014. 9. 29発行  
現在 児童数615人

E-mail: yon2es@mctv.ne.jp

<http://kamada-m.temporarydomain.net/qadmin/>

ぜん き 前期(～10月11日)が終わり、こう き 後期(10月12日～3月31日)が はじ 始まります

朝夕、随分涼しくなり秋の訪れを感じる。今日この頃です。学校では、前期の終了まで後少しとなり、各学年では、4月からの学習を振り返り前期のまとめを進めているところです。

後期は、学年の仕上げに向けて進む重要な時期です。前期の反省を基に、自分の弱みをなくすことに挑戦してほしいと思います。私たち一人一人の課題をしっかりと捉え、確かな学力の定着を図っていきたく思います。また、後期の10月・11月は子どもたちが楽しみにしている修学旅行・社会見学・だいよん祭等多くの学校行事や、地域の公民館行事(地区体育祭・球技大会・文化祭)も予定されています。こうした行事を通して、子どもたちそれぞれが充実した学校生活を送れるよう、そして、地域の子どもの活躍できるよう、

全職員で力を合わせ取り組んで行きたいと考えています。引き続き変わらぬご支援ご協力をお願いします。



## 9月人権授業参観・親子人権学習会

ネットモラルを学習しました

9月25日に、人権授業参観と親子人権学習会を行いました。

人権授業参観では、各学年で「仲間とつながり合い、仲間との結びつきを強めよう」の本校人権目標に沿った授業を行いました。親子人権学習会では、三重県警より講師をお迎えし「スマホ世代に迫る危険について」という演題で講演していただき、実際にあったメール等での誹謗中傷から問題提起をしていただき、親子でネットモラルについて学習致しました。たくさんのご参加ありがとうございました。

## 稲刈り体験しました

5年生が9月12日総合的な学習の時間に「稲刈り体験」

を行いました。毎年鎌田町の鈴木逸郎さんにお世話

いただいています。今年も豊作で、子どもたちは、慣れない鎌を使って稲を刈り取りました。学習支援ボランティア「四つ葉の会」の方6名の応援もあり、一緒に楽しくできました。

## 地区水泳・奉仕作業・市P連球技大会

夏休み中

夏休み中の地区水泳・奉仕作業ありがとうございました。

今年は雨天の日が少なく、子どもたちも十分水泳を楽しむことができました。また、奉仕作業では普段清掃できないところをきれいにさせていただきました。

ありがとうございました

【市P連結果】ソフトボール 優勝(中部中会場) キックベース 三位(Bチーム)



## の行事予定

日	曜	校内・PTA行事予定	日	曜	校内・PTA行事予定
1	水	コアラの会読み聞かせ(6年・学習室)	16	木	修学旅行 交通安全教室(1年)午前
2	木	委員会 視力検査6年	17	金	修学旅行 3年PTA学年行事
3	金	修学旅行説明会 視力検査5年	18	土	土曜学級
4	土	土曜学級	19	日	第四公民館芸能大会
5	日	第四公民館地区体育祭	20	月	安全点検 コアラの会読み聞かせ(3年) 第四回CS企画会議
6	月	ロング休憩 視力検査4年 PTA本部役員会 コアラの会読み聞かせ(5年)	21	火	鎌中第四小連携・朝の挨拶運動 2年PTA学年行事(5限)
7	火	視力検査3年	22	水	子どものためのクラシックコンサート
8	水	にっこり班遊び 視力検査2年	23	木	クラブ 1年PTA学年行事(3・4限)
9	木	児童議会 視力検査1年	24	金	コアラの会読み聞かせ(2年)
10	金	前期終業式 4限授業 給食後下校 CS校区連携協議会	25	土	
11	土	トーク21	26	日	
12	日		27	月	社会見学3年 PTA保体部会 コアラの会(1年)
13	月	体育の日	28	火	第3回子ども人権フォーラム16:00
14	火	後期始業式 4限授業給食下校 登校指導 PTA文化部会18:00	29	水	
			30	木	委員会
15	水	創立89周年 にっこり班出合いの会 コアラの会読み聞かせ(4年)PTA文化部会	31	金	だいよん祭前日準備 鎌中校区人権講演会19:00松阪卸センター

### 雑感

第四地区住民協議会教育部の皆さんや、各地区自治会長さんにお世話願ひ、

子どもたちの下校を見守っていただく「見守り隊」が発足されようとしている。神戸市長田区で起きたような痛ましい事件が後を絶たないと思うと、「見守り隊」ができれば、学校にとっても保護者にとっても、とても有り難い事である。地域の皆さんが見守ってくれていることを実感することが夏休み中にもあった。5年生の児童がキャンプ学習を終え、学校から家に帰る途中、体調が悪くなり道ばたに倒れ込んでしまった。通りがかった若葉町「太陽の里」職員の方が声をかけていただき、その施設(常駐の看護師さんがいる)で手当をしていただいた。そして、お家の方が仕事から帰るまで、その施設で休ませていただくという事があった。今月に入っても同じような話があり、つくづく地域の方の温かさを感じる。「見守り隊」ができることで、下校時の心配がすべて解消されるわけではないが、子どもたちが地域に見守られ育ったと感じることの意義は大きいものがある。この地区で育ったそんな子どもたちが大人になった時、きっと住みよい第四地区を作っていく大きな力となるに違いない。